

質疑応答の状況（要旨）

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>抽出案件について</p> <p>1 小豆地域統合高校校舎棟建築工事 ・今回工事の参加可能業者9者の中に小豆島に本社又は営業所がある業者はあったのか。 ・今回は3者が応札しており、さらに多くの下請業者が工事に関わってくると思うが、入札参加時にあらかじめ下請業者を分かるようにできないのか。</p> <p>・技術提案型の総合評価のうち、今年度新しく追加になった事項の評価（将来にわたる品質確保に資する方策に関する事項）はどのように行ったのか。</p> <p>・全ての工事が完了するのはいつか。</p> <p>2（防災・安全社会資本整備交付金）県道丸亀詫間豊浜線（多度津西工区）道路整備工事（第2工区） ・平面図において他工区と記載がある部分はすでに工事が完了しているということか。 ・なぜ分割して発注したのか。 ・本件工事は企業評価型のうち、「若年・女性技術者育成型」で発注しているが、その判断基準はどのようなものか。 ・「若年・女性技術者育成型」発注工事の得点状況はどのようなものか。</p> <p>・ここでいう技術者とは、どのような者を指すのか。</p> <p>3 浄水管理システム更新工事 ・一者応札となっているが、参加可能業者数は何者あったのか。</p> <p>4 平成27年度No. 5予防治山事業 ・当該工事箇所は私有地か。また、私有地の場合にも、県が工事を発注するのか。こういったケースは多くあるのか。</p> <p>5 高道維第48号 県道屋島公園線外7線 道路維持修繕工事(道路除草) ・草刈工事は夏場に行っているということだったが、交通等に支障が少ない場所については、時期をずらすことはできないか。香川の夏は暑く、業者の安全面を考えると、涼しい時期に行うことが望ましいのではないか。 ・700万円未満の1者入札を有効にしたことで、予定価格の設定において恣意性が入らないか懸念される。なんらかの対策は行っているか。</p>	<p>・なかった。</p> <p>・入札後に下請の報告を受けているが、入札時点では分からない。ただ、工事によっては総合評価において地元業者を下請業者とする場合は加点する項目を設ける場合もある。</p> <p>・技術提案型の評価事項は、「将来にわたる品質確保に資する方策に関する事項」を含めた複数項目の中から5項目程度を設定するが、今回の工事については、新設の項目で提案を求めている。なお、具体的な評価については、コンクリート打設時の鉄筋乱れの防止方策や外壁吹き付けむらを防止するための提案があり、評価した。</p> <p>・平成29年4月の開校を目指し、それに向けて順次工事を発注している。</p> <p>・当該工事は分割して発注しており、他工区部分については現在施工中である。</p> <p>・工期の短縮と受注機会の拡充を目的として分割した。</p> <p>・「若年・女性技術者育成型」は、原則企業評価型のうち、橋脚工事などの重要構造物を含まない比較的容易な工事を対象としている。</p> <p>・今年度の「若年・女性技術者育成型」での発注状況は、10月末現在で94件あり、そのうち、当該項目で得点した工事は23件、約25%となっている。また、94件のうち延べ84事業者が当該項目で得点しており、一定の配置は見受けられる。</p> <p>・一般的には土木施工管理技士の国家資格を持つ者である。</p> <p>・施工実績を確認したところ、参加可能業者は11社であった。</p> <p>・当該工事箇所は私有地であり、県が発注している。治山事業の目的が、災害を防止することだけでなく、森林を造成するという側面があることから、用地買収をせずに地権者から施工同意をとり県が工事を実施している。</p> <p>・草刈の効果があるのは、草が大きくなる前のこの時期である。確かに業者にとって炎天下のなかでの作業は厳しいことは承知している。そのため、熱中症等に配慮するよう指導を行っている。</p> <p>・予定価格の設定については、前年度の実績等を元に数量等を積み上げ、適正に設定しており、恣意性が入らないように行っている。</p>